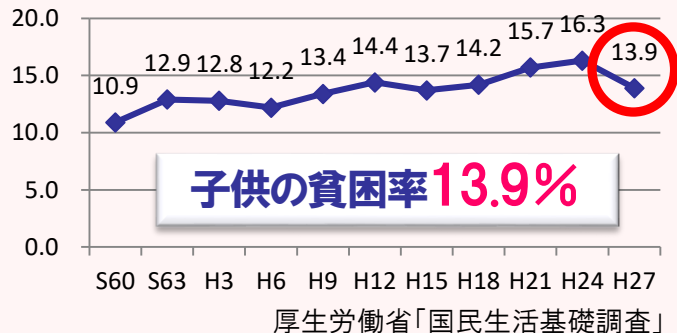


「子供の居場所づくり」の新展開



子供の貧困率



7人に1人の子供が**貧困状態**

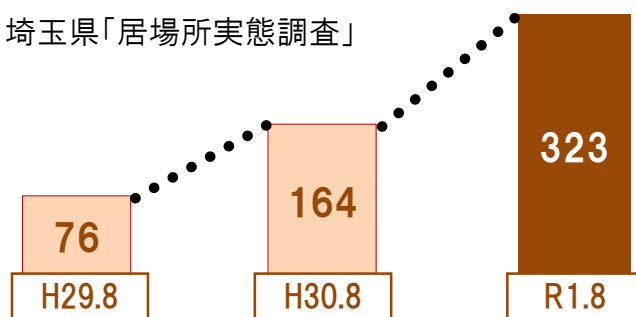
当たり前の生活が営めない状態

- 例:
- ・3食きちんと食べられない
 - ・部活動の道具が買えない
 - ・机がないなど学習環境が不十分

県内の「子供の居場所」1年で**倍増**

子ども食堂、無料塾、プレイパーク、多世代交流拠点等

埼玉県「居場所実態調査」



目標

800か所

※小学校区に
各1か所程度



子ども食堂



多世代交流食堂

小学生が歩いていける
距離に子供の居場所を
つくる

場所や食材の「マッチング」で居場所づくりを後押し

なぜマッチングに力を入れるのか？

場所、食材などの確保ができないために、
一歩を踏み出すことができない

こども応援ネットワーク埼玉

会員数**375**(R2.1.20現在)

- ・県が、子供の居場所づくりの運営者や支援企業のネットワークを立ち上げ
- ・支援企業や活動場所を**マッチング**することで活動を後押し

葬祭ホールで子ども食堂

- ・葬祭ホール運営会社 メモリードが
県に会場提供を打診
- ・葬祭ホールを活用し、子ども食堂と
フードパントリーを実施



銀行会議室で工作教室

- ・埼玉りそな銀行が、県に居場所づくり
のためのセミナールーム活用を打診
- ・フェイスブックで公募し、運営者を選定
「生きる力を育む」をテーマに実施



JAの野菜を子ども食堂へ

- ・JAが地域貢献と食品ロス削減を目指し、
県に食材提供を打診
- ・JA埼玉ひびきの、くまがや、花園の
農産物直売所と生産者が協力



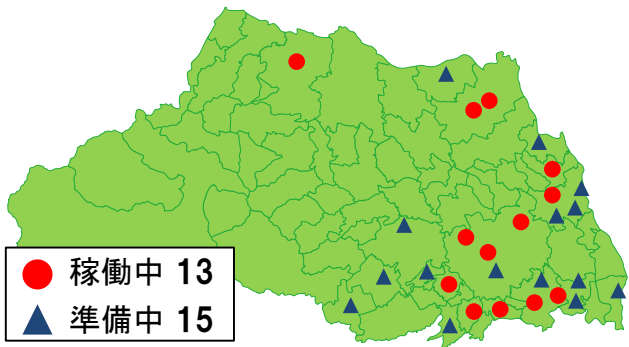
ひとり親支援の新展開「子育て応援フードパントリー」

子育て応援フードパントリーとは？

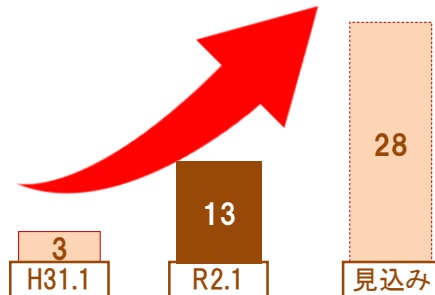
食品企業や農家などから食料を提供してもらい、生活に困窮するひとり親家庭などに無料で手渡すための拠点



フードパントリーの稼働状況



H31.1 の3か所から急増



フードパントリー促進に向けた支援



企業などから食材を集める「フードバンク」の見学会の開催



会場を無償提供する企業の紹介



食料の輸送を支援する物流会社の紹介

「子供の居場所づくり」のこれから



現在までの主な取組

※R2.1.20時点

こどもの居場所づくりアドバイザー

- ・これから居場所を始める人にノウハウを提供
6月開始 派遣249回 ➡ **立上げ 33件**

こども食堂フォーラム

- ・ノウハウ共有と顔のみえる関係づくりを促進
11月開催 46団体出展 ➡ **来場者 約500人**

県庁フードドライブ

- ・県庁主催で食材を集め、子ども食堂等へ提供
6月・11月開催 ➡ **寄贈 333人, 1,490個, 401kg**

こども食堂応援基金

※県社会福祉協議会が実施

- ・子供の居場所づくりを寄付で応援
6月受付開始 ➡ **寄付 30人, 287万円**

これからの取組

こどもの居場所づくりポータル・サイトの公開(2月3日から公開)

- ・子供の居場所マップの掲載(検索機能、居場所の紹介付)
 - ・こども応援ネットワーク埼玉の会員の取組、マッチング事例の紹介
- 子供の貧困を知る こどもの居場所マップ マッチング・ページ**



これからの「子供の居場所づくり」

誰も取りこぼさないための**地域共生社会**の拠点となりうる

➡ 県として、子供の居場所づくりに取り組む方々を全力で応援

